



みどりを育む

# 横造協だより

発行 Vol.26  
社団法人 横浜市造園協会  
広報委員会

横浜市中区尾上町1-6 住友生命横浜関内ビル7階  
TEL 045-662-9897 FAX 045-664-5633  
http://www.yokohamashizen.or.jp

## 37年1カ月の思い出

財団法人横浜市緑の協会

理事長 吉田 哲夫

### はじめに

橋本理事長の後任として5月1日に就任いたしました。本年は3月11日に発生した東日本大震災の影響で退職が1カ月延び、37年1カ月の横浜市役所勤務を無事終えることができました。

造園協会の皆様には、都筑区勤務の折には、2カ年にわたり区民祭に大変なご

協賛を頂き感謝いたしております。また、本年の大通公園第3回納涼ガーデン祭り、ヨコハマトリエンナーレ2011においてもご協力を頂き大変感謝いたしております。

### 昭和49年〜昭和56年 (審査係・施設課第一係)

最初の配属は、緑政局公園緑地部計画課審査係でした。横浜市で東急沿線の区画整理や開発行為が花盛りで、年々人口が増加してまいりました。開発行為の検査ではよく現場に行きましたが、旧戸塚ではA社が多く



山下公園



### 略歴

おだつお 吉田哲夫  
1950年 東京生まれ  
1974年 東京農業大学造園学科卒業  
横浜市入庁  
2008年 横浜みどりアップ推進担当理事  
2009年 横浜市都筑区長  
2011年 横浜市退庁  
(財)横浜市緑の協会 理事長

昭和54年には、施設課第一係に異動となりました。

当時は担当チームによる設計工事を行っており

した。金井公園、中村町公園プール、ワールドユース

サッカー会場の三ツ沢公園

球技場と夜間照明、56年全

国高校総合体育大会メイン

会場となる同公園競技場整

備、中村町公園プール、入

江町公園プール、川辺町公

園プール、上飯田西公園

プールの施設整備を経験い

たしました。

### 横浜公園

### 昭和56年〜昭和62年 (中部公園施設係長)

この年の11月26日に中部公園係長となりました。

5年6カ月間に横浜公園

チューリップ植え、舞岡

公園暫定利用、山下公園再整備(季節売店撤去、山下

ポンプ場、山下公園から港

2mほど道路面より高く

なっており、不思議に思っ

ておりましたが、柏尾川が

氾濫し第二児童公園班話所

が天井近くまで水没しまし

た。この経験を生かし周辺

工場と同様に公園地盤を上

げるために、A社に植栽に

適した良好な土の提供を受

け地盤を上げました。もと

もと、地下水位が高いせい

でしようか、ケヤキが植え

替えては枯れ、の連続でし

た。この経験を生かし現在

のケヤキは高植えにしたも

のです。

昭和55年の会計検査では

テニスコートのウレタン舗

装の一部指摘を受けました

が、根気よく説明し理解し

ていただく等貴重な経験も

いたしました。余談ですが

「ワールドユースサッカー」

南アフリカ大会にはアルゼ

ンチン代表の監督マラドー

ナが選手として参加して

おりました。当時はスリム

で俊敏だった事を思い出し

ます。スタンド改修はB社

が、照明はC社が施工しま

した。

56年の総体整備では、ス

タンド整備はD社、周辺の

公園整備はE社、グラウン

ド・トラックはF社が施工

しました。アンツーカーか

らウレタンに変わる時で、

高い工事費と高い精度を要

求される割には、ウレタン

をバケツやひしゃくで撒く

のには驚きました。走路

はフィールドに向けた片勾

配であり排水はオメガ排水

(スリットの入ったPCブ

ロック)が主流でした。

通常のU字溝では選手が

足を踏み外した時に危険と

言われましたが、そんな選

手はいません。U字溝は内

圏縁石の内側にあり、越え

たらファールとなり失格とな

ります。管理を考えウレタ

ン蓋付U字溝としました。

さらにペンキマーキンググ

### 舞岡公園

舞岡公園は、総合公園と

して土地を取得し、整備予

定でした。予定地はまさに

横浜の農業が営まれた郊外

地形であり、周辺では市民

が農業体験を実施するなど

地形とソフトがそろう、農

業景観を維持できる要素が

ありました。

少し話はそれますが、修

学院離宮の千

枚田の景観は

素晴らしいも

ので、国有地

を田んぼにし

景観を保って

いると聞いて

いますが、最

近は受託する

人がいないよ



横浜公園



舞岡公園

農業景観は

正に人が関わって景観をな

すものだと思います。また、

一度失われた景観はなかなか

戻りません。そこで、整

備までは長い期間もかかる

ことから、市民団体に委ね

るのも方法と考え、舞岡水

と緑の会の協力を得ることが

できました。

年頃から山下公園で始

まった花壇展と聞いており

ます。一時は日本庭園が主

流でしたが、現在は草花を

「ヨコハマ」の名がつい

たチューリップを横浜公

園で咲かせてみては、と

話があり一緒にG社にお

願いをして、チューリッ

プの寄付を

受け「スプリ

ングフェア

チューリップ

まつり」とし

て現在に至っ

ております。

このスプリ

ングフェアの

母体となった

のは、昭和30

年頃から山下公園で始

まった花壇展と聞いており

ます。一時は日本庭園が主

流でしたが、現在は草花を

主体とした花壇展になり、

年頃から山下公園で始

まった花壇展と聞いており

ます。一時は日本庭園が主

流でしたが、現在は草花を

主体とした花壇展になり、

年頃から山下公園で始

まった花壇展と聞いており



# 第32回 通常総会を開く

## 「ハマの緑を育むつどい」を開催

5月23日ホテル横浜ガーデンにおいて第32回通常総会を開催した。左記議案について審議し、いずれも原案通りに承認された。

- 【第1号議案】平成22年度事業報告(案)の承認について
- 【第2号議案】平成22年度収支決算(案)の承認について
- 【第3号議案】役員改選(案)の承認について

総会終了後ご来賓をお迎えして「ハマの緑を育むつどい」を開催した。



生駒隆一 会長

### 災害時には速やかな支援を

本日は大変お忙しい中、山田副市長はじめ多くの市幹部の方々、自民党横浜市連の先生方に「ハマの緑を育むつどい」にご臨席いただきましてこと感謝申し上げます。

協会が活動出来るのは皆様のご協力、ご支援の賜物と思っております。改めて感謝申し上げます。

私、本日の総会におきまして再び会長という大役を仰せつかりました。新しい役員体制で協会の発展のために精一杯務めさせていただきます。

3月11日に発生いたしました「東日本大震災」で被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますと共に



山田横濱市副市長

### 市民に解りやすく、迅速な対応を

ただいまご紹介いただき

ました、横濱市副市長の山田でございます。第32回の横濱市造園協会の総会の開催、誠にありがとうございます。また、皆様方におかれましては日頃から横濱市政の推進にご支援、ご協力をいただいております。林文字横濱市長に代わりまして篤く御礼申し上げます。

さて3月11日に東日本大震災が起きまして、本市の公園緑地におきましても一部被害がございました。また建設資材の不足の問題もございました。この様な中で復旧に向けて、横濱市造園協会の皆様方に非常に

尽力いただいたということに本当にありがたく感じています。また、4月8日には横濱市造園協会の皆様方から義援金をお預かりさせていただき、被災地の方に届けさせていたところで、本日に震災を巡る様々な対応で尽力いただきましたことお礼申し上げます。

改めて申し上げます。列席の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。

から分野別の組織へと改め、市民の方に解りやすくしかも迅速に対応出来る体制を整えました。皆様との関係では公園緑地部とみどりアップ推進部の2部でしっかりとコミュニケーションをとらしていただくという体制を整備しているところです。

これまで申し上げました緑の保全・創造の取組を横濱市造園協会の皆様方が日ごろから培われた知識や技術をもとに、より一層の助けを横濱市と一緒にやっていただければと期待しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひしたいと思います。

最後にになりましたが横濱市造園協会の益々のご発展と、本日ご参集の皆様方のご多幸・ご健勝を祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。

今年から環境創造局の中も、今までの機能別の組織

#### 平成23・24年度 役員名簿

役職名	氏名	事業所名
顧問	藤巻 司郎	藤造園建設株式会社
相談役	藤田 孝次	株式会社三橋緑化興業
会長	生駒 隆一	生駒造園土木株式会社
副会長	渡邊 宣昭	横浜植木株式会社
〃	松倉 仁	一造園土木株式会社
〃	田澤 重幸	株式会社田澤園
専務理事	佐藤 安春	事務局
理事	石井 直樹	石井造園株式会社
〃	北村 裕	株式会社きたむら園
〃	高橋 更一	小島造園株式会社
〃	坂田 宏	株式会社サカタのタネ
〃	篠原 友周	篠原造園建設株式会社
〃	石田 誠	株式会社誠和緑化
〃	田口 英明	田口園芸株式会社
〃	永吉 克哲	株式会社永吉緑化
〃	池田 英明	日光緑化建設株式会社
〃	矢部 均	株式会社三橋緑化興業
〃	土志 田淳	横浜庭苑株式会社
〃	浦野 修	横浜緑地株式会社
監事	岸 純一	株式会社貝塚造園
〃	大矢 正夫	外部
〃	相原 信行	相原造園土木株式会社

#### 各委員会組織表

委員会	担当理事	委員長	副委員長	委員
総務	高橋更一	藤田信一	石山昭夫	齋地 亘・杉本健一・阿部耕三 村田典生
企画	篠原友周	永吉克哲	相澤正章	石井直樹・金子富俊・森 成徳 小管勇一・福岡栄治・山田裕之
広報	矢部 均	斉藤正昭	真田達夫	荒井隆佑・岸 聡志・北村善輝 渡邊 忠・笠原和弘・小関欣一
技術	池田英明	堀江伸吾	青木洋一	石田力也・菊地雄一・早坂尚生 松村 学
安全	石田 誠	相澤 剛	石井勝弘	南條 滋・小原邦和・藤白幸一 河端哲哉
緑の諮問	山田康博	土志田淳	越川雅彦	荒井秀利・増田一志・粟飯原勉 藤巻慎司・後藤修久・山田裕之
特別委員会				
法人化	田口英明	理事兼任	小林新一	高橋 卓・田野井章

## 平成23年度 労働安全衛生大会を開催



安全宣言



入選標語受賞の皆様

7月22日(金)ホテル横浜ガーデンにおいて、「平成23年度労働安全衛生大会」を開催した。

来賓に横濱南労働基準監督署長、横濱市環境創造局長はじめ道路局・各区土木事務所長の方々をお迎えした。

#### 安全標語 講評

今年度も当協会独自の「平成23年度労働災害防止目標」(死亡者数0人・休業4日以上の労働災害0

人)をたてた。横濱南基準監督署長平野茂樹様に「安全の原点」のご講演をいただいた。

最優秀賞の作品は、日常業務の中でご自身が励行されている、リスクへの安全意識が日常の言葉で素直に表現されている。これこそ事業所と社員が一体となっ

#### 入選標語

●ヒヤリで済んだあの経験ハット感じたあの教訓活かして続ける無災害(株) きたむら園 北村善輝

●点検と合図が光る良い現場 皆で作ろう安心安全生駒造園土木(株) 三枝岳秋

●安全は無理せず慌てず油断せず 潜む危険の芽を摘もう篠原造園建設(株) 栃木 努

●明るい未来と家族のために、無事故で帰る!! 安全作業一造園土木(株) 田島弘一

●決め事を守る決意と続ける努力皆で目指そうゼロ災害横浜植木(株) 松村 学

の日頃の安全活動推進の「安全標語」だと評価された。また、優秀賞の4名作品も、安全意識を広めて災害を未然に防ごうという積極的な姿勢が高く評価された。この標語と共に今年度一年間、労働安全衛生生活を推進する。



# 横浜市造園技術交流会

## 委託安全パトロールを実施

今回のパトロールは、横浜市造園技術交流会事業の一環として、委託現場の業務計画書・安全管理・交通管理及び保安上の措置についての確認をすることを目的として実施した。

実施日 平成23年7月6日(水)  
対象現場 委託 2件

- 注意事項
- ・プロアリの使い方(ほこり・音等の公園利用者に対する配慮)
  - ・肩掛け草刈り機の置き場

## 常に安全確認を怠らないで！



及び保護カバー  
評価事項  
・ブルーシートでの養生歩行者(通路)  
・斜面地での安全帯の着用  
・消火器の設置  
・草刈り範囲の明示(杭・トラロープ)

委員長コメント  
今年の夏は熱中症発生のリスクが高いとされています。予防のためにこまめな水分補給や休憩を取ること等が必要。また現場ではリスクアセスメントを導入したKYシートの活用が望ましいと思われる。

会員各社におかれましては、常に安全確認を怠ることは、常に安全確認を怠ることなく、本年度の標語「ヒヤリで済んだあの経験を活かして続ける無災害」を再度認識し、無事故、無災害をお願いしたい。

## 公園施設見学研修会の開催 「庭園デザインと配植の工夫」をテーマに



秩父宮記念公園



旧住友邸庭園

「庭園デザインと配植の工夫」をテーマとして6月1日開催。  
研修箇所  
・秩父宮記念公園(静岡県御殿場市)

参加者 70名  
敷地面積約1万8千坪を有し、その象徴ともいえる茅葺の母屋と樹齢130年余のしだれ桜が、静かに園内を見守り、また四季折々の草花が咲き誇っている秩父宮公園と、一昨年にも研修に訪れその時点と現在との変化を視ることが出来た旧住友邸庭園を研修した。

## 高木剪定技術研修会を行なう ツリークライミング技術体験

高所作業車やラフター等の機械が使用出来ない場所で、大木に登り剪定・伐採



う研修会を10月6・7日開催した。  
午前中は座学とデモンストラクション、午後は実際にツリークライミングを体験した。  
天候にも恵まれ、多くの



参加した造園技術者は造園技術者の安全技術促進のために、また仕事の幅を広げるためなど、興味をもって研修を受けた。  
高木剪定は造園業者が課題として一つであるが、この技術を実務に生かすにはJAA主催のセミナーに参加し、技術を習得しなければならぬ。更にステップアップする方が増えることを期待する。

研修場所 横浜市児童遊園地  
講師 JAAアーボリストトレーニングチーム フォレストガーデン ヘッドトレーナー 森田弘行氏他  
参加者 70名

## 東日本大震災の被災地を視察

日程  
7月10・11日  
視察箇所

塩釜港・仙台港中央公園・名取市(市役所・荒浜地区・日和山富士主姫神社)・仙台空港線美田園駅付近・仙台空港付近・石巻市(石巻港・万石浦女川町)・松島湾

参加者  
副会長・担当理事・緑の諮問委員会(10名)



仙台港中央公園



松島湾

現地の様子を目の当たりにし、言いようのない喪失感、無力感を覚えた。  
“復興・復旧”の活字や言葉が新聞やマスメディア等で報じられているが、被災者や地域の方々が、未だその初期段階として懸命に流木や家畜などの処理を

行っている状況下、軽々に“復興・復旧”を語るべきではないの思いがした。  
今回ご同行頂いた宮城県造園建設業協会の方々の当時の状況や現在までの活動内容等前向きな取り組みに大いに敬意を表したい。

災害協定締結後間もない震災であるにも係らず、名取市との連携がしっかりと

行われ、市から高く評価されているとのこと。  
災害支援を行ううえで、市から燃料等の支給が優先的にあったことで、協会員各社が保有する建設機械(ダンプ、移動式クレーン、バックホウ)による活動が出来たこと、何より会員同士のチームワークが高く評価を受けた、このことであった。  
今後我々造園人は仲間として何が出来るか、何をすべきかを熟考していきたい。  
また、当協会が横浜市と結んでいる防災協定についても、いざ起りうる災害に対し、出来る限りの準備をしなければならないと思う。



# 樹木に魅せられて (第21回)

## 北部公園緑地事務所

### 小林 和子

#### 自然を守ることに興味が...

私は学生時代、テレビや本などを見て自然保護に興味を持ち、できれば自分もそういったことに関われる仕事をしたいと思い、横浜市に就職しました。

横浜市に入って緑政部緑化推進課という部署に配属され、道路、河川、公共施設の緑化を担当しました。実は大学の時そんなに樹木の勉強をしてこなかった私は、樹木の名前などを知らず、このときに諸先輩や造園業者さんいろいろ教わったと言っても過言ではありません。

また、環状2号線の道路緑化の際はもらいもののケ



ヤキを移植して、「あのミイラみたいなケヤキは何だ」と怒られたり、新設消

#### 樹のもつ意味に思いやる

しかし、工事で樹木を植える一方で、切ることも多くなりまして。港の見える丘公園の山手111番館の周辺の整備をした時、この館の前にヒマラヤスギの大

### 効率より少しユックリ管理を!

防署の緑化の際は緑化面積を増やすため、訓練場の真ん中に樹木を植えられないか交渉したり(結果ダメでしたが...)、今振り返ると一番樹木を植えた時期だったと思います。

その後、管理課維持係に異動し、公園の再整備などを行うようになりました。この時は緑化推進課で学んだ樹木の知識が非常に役に立ちました。

木が2本あったのですが、園路を整備するため移植を行いました。するとその後、山手111番館が雨漏りするようになってしまい、よく考えるとこの2本のヒマラヤスギが建物を風雨から守っていたのだと思いがち

りました。これが設計した人の意図であったかどうかはわかりませんが、ただあるだけに見える樹木も意味があることを痛感しました。

そして現在、北部公園緑地事務所公園や緑地の管理の仕事をしてますが、さらに樹木を切ることが多くなっています。特に緑地の管理は傾斜地も多く、民地と近接していることも多



港の見える丘公園に移植したヒマラヤスギ

いため苦情も多いです。緑地で越境している樹木を要望に応じて切ったら、次は草がのびて困ると苦情が入ったり、竹を間伐したら風が通るようになり中

にあつた樹木が倒れそうになったり、緑地、樹林地の管理は手探り状態です。そんななか、自然環境は急激に変えるという支障があると実感するようになり

ました。何事も効率的に一気に片付けがちですが、樹木だつて時間をかけて育ててきたのです。緑地、樹林地の管理作業は、思っているよりゆっくりで良い、そんなことを考えながら最近

は管理を行うように心がけています。

#### 人と自然の

#### よい関係のために

自然保護がきっかけとなって入つたこの職業。現在の仕事は自然保護なのかと言われると多少疑問が残

りますが、少しでも人と樹木、自然環境がよい関係になれるように助力できればと思っています。

**よこはま花と緑の**  
**スプリングフェア**  
**2011「花壇展」**

よこはま花と緑のスプリングフェア2011「花壇展」が当協会員20社と横浜農業協同組合にご協力いただき、4月15日から5月5



横浜市長賞 (株)きたむら園 ~輝き~



表彰式

日の期間開催された。今回もそれぞれ工夫を凝らした花壇が、会場を訪れた人々の関心を引くとともに技術の高さを感じさせた。手作りコースターの配布やポプリづくりなど来場者の人気を集めた。

- コンクール結果**
- 横浜市長賞 (株)きたむら園
  - 【輝き】
  - 横浜市会議長賞 (株)杉本造園
  - 【飛躍】
  - 横浜市環境創造局長賞 市民賞
  - 希望への船出
  - 神奈川新聞社賞 櫻井造園土木(株)
  - 【希望の輪】
  - 財団法人横浜市緑の協会 理事長賞
  - 横浜農業協同組合
  - 【ニハオ】
  - みどりアップ奨励賞 赤坂造園(有)
  - 【自然からの...】

会場内で東日本大震災被災地支援として義援金の募金をお願いいたしました。多くの方にご協力いただきましたこと感謝申し上げます。

- 出展社 (花壇番号順)**
- 赤坂造園(有)・アライグ
  - リン(株)・石井造園(株)・
  - (株)貝塚造園・金子園芸
  - (株)きたむら園(株)
  - グリーンケア(株)・港南
  - 植木ガーデン(株)・酒井
  - 造園・櫻井造園土木(株)・
  - 三和造園土木(株)・(株)

**訃報**

井原力子氏 (7月1日)  
井原造園株式会社  
代表取締役  
井原信夫氏(ご母堂)

生駒武敬氏 (7月25日)  
当協会相談役  
生駒造園土木株式会社  
取締役会長

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

**終わりの言の葉**

言葉と言う漢字にはなぜ『葉』が用いられているのでしょうか。

由来は「古今和歌集」の「仮名序」と呼ばれる序文に『やまとうたは ひとのこころをたねとして よろづのこのの葉とぞなりける』とあります。

これに表わされているとおり『葉』は多くの意味で豊さを表すと考えられ、言の葉は言葉となったようです。

私たちが大切にしている沢山の葉を付けた緑も豊かさの象徴であり、その緑を守る私たちの『横造協だより』を言の葉という風に乗せてお届け出来ることを嬉しく思います。

(広報委員会)

い